

世界経済評論 復刊 8号

(通巻 689号)

2017年3・4月号

特集「トランプ維新への疑問と現実」

発売 2017年2月15日

世界経済評論 復刊 7号

(通巻 688号)

2017年1・2月号

特集「汎アジアの新たな発展：経済開発と地域の融合」

発売 2016年12月15日

【申し込み先】

(株)文眞堂

〒162-0041 東京都新宿区早稲田鶴

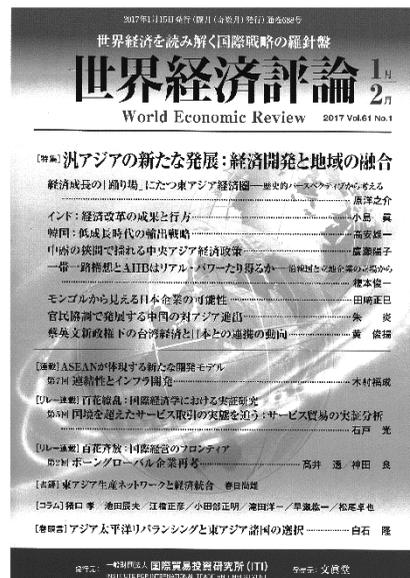
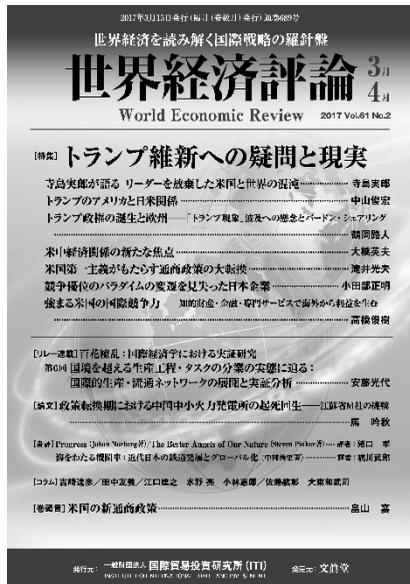
巻町 533 番地

TEL : 03-3202-8480

<http://www.bunshin-do.co.jp/>

定価1,296円 (消費税込み、送料別)

年間購読料 6,480円 (消費税込み、送料共)



## 活動報告

### 1. 役員会

第 15 回通常理事会を 3 月 10 日に開催いたします。

- 平成 29 年度事業計画、予算など諮ります

### 2. 最近のプロジェクト・調査研究活動から

#### (1) 本年度調査事業

- 公益財団法人 JKA からの助成金を受けて、次の調査研究を実施しております。

- 1) 主要国のライセンス規制改定動向調査研究補助事業
  - 2) ドイツ中堅中小企業の海外進出実態調査補助事業
  - 3) AEC 創設後の ASEAN の機械工業と中小企業調査補助事業
  - 4) メコン地域のサプライチェーン構築支援調査研究補助事業
    - ITIC 助成事業
- 1) 「東アジアの FTA 及び TPP の関税削減効果調査」
  - 2) 「中国の第 13 次 5 か年計画と一帯一路を中心とする対外発展戦略の

国際経済への影響」

- 3) 「フェアトレードビジネスモデルの新しい展開」

#### (2) 研究会の開催

##### 【国際貿易投資研究会】

- ・ 第 1 回 (5 月 9 日)  
テーマ:「TPP とサービス貿易自由化」  
(石戸光 千葉大学法政経学部教授)
- ・ 第 2 回 (6 月 20 日)  
テーマ:「TPP における政府調達・国有企業~その特徴と活用方法~」  
(福山章子 デロイト・トーマツコンサルティング合同会社レギュラトリストラテジーアソシエイト)
- ・ 第 3 回 (8 月 22 日)  
テーマ:「我が国の課題と対応:通商白書 2016 より」(岡本祐典 経済産業省通商政策局企画調査室室長補佐)
- ・ 第 4 回 (10 月 6 日)  
テーマ:2016 年 JETRO 世界貿易投資報告から (椎野幸平 JETRO 海外

調査部国際経済課長)

- ・第5回(12月5日)  
テーマ:「AEC 創設と日アセアン経済関係」(岩田泰 経済産業省通商政策局アジア大洋州課長)
- ・第6回(1月23日)  
テーマ:「トランプ新政権における経済通商政策とその影響」(滝井光夫 桜美林大学名誉教授、秋山士郎 JETRO 海外調査部米州課長、高橋俊樹 ITI 研究主幹、江原規由 ITI 研究主幹)

【各国のライセンス規制改定研究会】

- ・第1回(9月20日)  
テーマ:「中国独占禁止法による知的財産権濫用規制」(川島富士雄 神戸大学大学院法学研究科教授)
- ・第2回(11月22日)  
テーマ:「日本の独占禁止法にみるライセンス規制」(松下満雄 東京大学名誉教授)
- ・第3回(12月26日)  
テーマ:「EU・ドイツにおけるライセンス規制改定動向」(高橋岩和 明治大学法学部教授)
- ・第4回(1月26日)  
テーマ:「米国における状況」(大久保直樹 学習院大学法学部教授)
- ・第5回(2月23日)

テーマ:「インドにおけるライセンス規制を含む貿易障害の動向」(大河内亮 アンダーソン・毛利・友常法律事務所パートナー弁護士)

【メコンサプライチェーン研究会】

- ・第1回(4月27日)  
テーマ:今年度報告書内容について
- ・第2回(6月29日)  
テーマ:「ASEAN 企業のメコン展開」(牛山隆一 日本経済研究センター主任研究員)
- ・第3回(11月22日)  
テーマ:①「韓国企業のベトナム進出」(百本和弘 JETRO 海外調査部主査)  
②「大メコン圏の経済回廊における物流状況ーバンコク、プノンペン、バベット、ビエンチャンでの日系企業ヒアリングより」(藤村学 青山学院大学経済学部教授)  
③「マングレー工業団地の工場現場と中国の対ミャンマー貿易」(大木博巳 ITI 事務局長兼研究主幹)  
④「ビエンチャン、マングレー地域における産業人材育成」(高橋与志 広島大学大学院国際

協力研究科准教授)

【メガ FTA 研究会】

- ・第 1 回 (6 月 16 日)  
 テーマ:「米国の TPP 批准見通しと  
 ポスト TPP 戦略」(滝井光夫 桜  
 美林大学名誉教授)
- ・第 2 回 (7 月 12 日)  
 テーマ:「最近の日本の対米投資の  
 特徴」(増田耕太郎 ITI 客員研究  
 員)
- ・第 3 回 (8 月 10 日)  
 テーマ:「イギリスの EU 離脱問題と  
 欧州経済展望」(川野祐司 東洋  
 大学経済学部教授)
- ・第 4 回 (9 月 20 日)  
 テーマ:「混迷続くブラジルおよび  
 メルコスール (南米南部共同市場)  
 の動静」(堀坂浩太郎 上智大学  
 名誉教授)
- ・第 5 回 (10 月 21 日)  
 テーマ:「アフリカ概況と TICAD VI  
 の結果を踏まえた今後の取組」  
 (小松崎宏之 JETRO 海外調査部  
 主査 (前ナイロビ事務所長))
- ・第 6 回 (11 月 25 日)  
 テーマ:「トランプ新政権発足後の  
 米国経済のリスク」(木村誠  
 JETRO 海外調査部アドバイザー)
- ・第 7 回 (1 月 24 日)

テーマ:「自由貿易体制の拡大・深化  
 に備え輸出力強化に注力するイ  
 ンド～自動車産業を例として」  
 (山元哲史 現代文化研究所上  
 席主任研究員)

【フェアトレードビジネス研究会】

- ・第 1 回 (6 月 8 日)  
 テーマ:「メキシコの連帯経済～コ  
 ーヒーのフェアトレードの位相」  
 (山本純一 慶応義塾大学名誉  
 教授)
- ・第 2 回 (7 月 27 日)  
 テーマ:①「フェアトレードタウン  
 とコミュニティ・ビジネス」(長坂  
 寿久 ITI 客員研究員)  
 ②「フェアトレードと企業－日本  
 企業の事例を中心に」(中島佳織  
 フェアトレード・ラベル・ジャ  
 パン事務局長)
- ・第 3 回 (9 月 21 日)  
 テーマ:①「SDGs とフェアトレード  
 ～倫理的貿易・倫理的投資の観  
 点から～」(佐藤寛 JETRO アジ  
 ア経済研究所 席主任調査研  
 究員)  
 ②「フェアトレード取引の金融力  
 の面での支援の可能性につい  
 て」(箕曲在弘 東洋大学社会  
 学部専任講師)

・第4回(10月5日)

テーマ:①「有機農業運動・持続可能な発展・開発動向とフェアトレード」(古沢広祐 国学院大学経済学部教授)

②「フェアトレード・有機ダブル認証の農村開発への示唆」(牧田りえ 学習院大学国際社会科学部教授)

・第5回(11月9日)

テーマ:①「フェアトレードとエシカルトレード」(渡辺龍也 東京経済大学現代法学部教授)

②「アンフェアトレードの非継続性」(小林尚朗 明治大学商学部教授)

・第6回(12月22日)

テーマ:①本テーマに基づく政策提案

②「日本のフェアトレード市場規模調査結果発表」(増田耕太郎 ITI 客員研究員)

【ASEAN の機械工業と中小企業研究会】

・第1回(7月1日)

テーマ:「ASEAN 連結性の強化と交通・運輸分野の改善-実効的なバリューチェーンの構築へ」(春日尚雄 福井県立大学地域経済研究所教授)

・第2回(9月26日)

テーマ:①「ASEAN 経済共同体(AEC) 貿易と投資の自由化」(石川幸一 亜細亜大学アジア研究所教授)

②「アジアにおける日本の中小企業の経営実態をみる」(藤原弘 アジア企業経営研究会会長)

・第3回(12月19日)

テーマ:①「ASEAN の機械工業への投資ならびに各国における機械工業の集積・分散の状況」(助川成也 JETRO 海外地域戦略主幹)

②「ASEAN 4 カ国(インドネシア、マレーシア、タイ、ベトナム)における工業製品の貿易」(吉岡武臣 ITI 主任研究員)

・第4回(1月30日)

テーマ:「ASEAN 経済共同体(AEC) の創設と自動車産業」(清水一史 九州大学大学院経済学研究院教授)

【中国研究会】

・第1回(8月4日)

テーマ:今年度のテーマの取り組み方について自由討議

・第2回(9月15日)

テーマ:

①「新しい成長戦略としての“13・

5”計画と“一帯一路”発展戦略」(梶田幸雄 麗澤大学外国語学部教授)

②「一帯一路戦略は奇貨か鶏肋か～その現状と今後の展望～」(江原規由 ITI 研究主幹)

・第3回(11月17日)

テーマ:

①「新疆とシルクロード経済帯、新疆でみた一帯一路の進展」(朱炎 拓殖大学政経学部教授)

②「“13・5”計画と国有企業改革～金融面の課題を中心に～」(岡嵯久実子 一般財団法人キヤノングローバル戦略研究所研究主幹)

・第4回(12月20日)

テーマ:

①「人民元の国際化の現状」(露口洋介 信金中央金庫海外業務支援部上席審議役 元日本銀行)

②「中国のAIIBはリアル・パワーになれるか～沿線国・企業の視点から～」(榎本俊一 経済産業研究所コンサルティング・フェロー)

【欧州研究会】

・第1回(7月11日)

テーマ:「英国離脱後のEUの行末」(メンバーによる討論)

・第2回(9月5日)

テーマ:「EUは長期低落を防げるかーイギリス離脱の行方」(長部重康 法政大学名誉教授)

・第3回(10月3日)

テーマ:「EU離脱のイギリス経済への影響」(川野祐司 東洋大学経済学部教授)

・第4回(11月7日)

テーマ:「EU主要国の対英関係と英国のEU脱退交渉の行方」(田中信世 ITI 客員研究員)

・第5回(12月5日)

テーマ:「英国離脱で危機に直面するEU基礎研究」(中野幸紀 関西学院大学イノベーション研究センター客員研究員)

・第6回(1月23日)

テーマ:「難民とドイツの労働力不足」(新井俊三 ITI 客員研究員)

・第7回(2月13日)

テーマ:

①「2017年の欧州・社会情勢を予測する」(田中友義 ITI 客員研究員)

②「英国のEU離脱とシティーの

将来」(久保広正 摂南大学経済学部教授)

(田中信世 ITI 客員研究員)

#### 【資源・エネルギー研究会】

- ・第1回(9月26日)  
テーマ:「中東産油国の経済」(上山一 筑波大学大学院北アフリカ研究センター助教授)
- ・第2回(12月27日)  
テーマ:「ウラジオストクで日ロ協力関係緒に就くか」(蓮見雄 立正大学経済学部教授)
- ・第3回(1月25日)  
テーマ:「中国のエネルギー事情」(竹原美佳 JOGMEC 調査部)

#### 【ドイツ中小企業研究会】

- ・第1回(9月30日)  
テーマ:「ドイツ中小企業の海外進出」(メンバーによる討議)
- ・第2回(11月28日)  
テーマ:「ドイツの中小企業の現状と中小企業政策」(新井俊三 ITI 客員研究員)
- ・第3回(12月26日)  
テーマ:「ドイツ各州の中小企業政策」(伊崎捷治 ITI 客員研究員)
- ・第4回(1月30日)  
テーマ:「ドイツ中小企業の国際展開～輸出と投資に見る企業行動」

#### 【ブラウンバックランチミーティング】

- ・第26回(7月11日)  
「SRI－社会的責任投資が変える世界の姿と日本の女性」(筑紫みずえ 株式会社グッドバンカー代表取締役社長)
- ・第27回(9月8日)  
「欧州経済と日本の金融政策」(白井さゆり 慶応義塾大学総合政策学部教授)
- ・第28回(10月7日)  
「技術革新が大学を変えていく－技術革新・使用言語・教育目標」(猪口孝 新潟県立大学学長)
- ・第29回(11月15日)  
「財政再建について」(齋藤次郎 元大蔵事務次官・日本郵政前社長)
- ・第30回(12月16日)  
「世界を揺るがす反グローバル主義の嵐」(明石康 国際文化会館理事長・元国連事務次長)

### 3. 調査研究報告書など(成果の普及活動)

- (1) 調査研究報告書の発行  
調査研究成果を報告書にとりまとめて発行しました。2016年4月以降に発行した調査研究報告書は次のとお

りです。

①「中国の第 13 次 5 カ年計画と一帯一路戦略を中心とする対外発展戦略の国際経済への影響」

(2) ITI 調査研究シリーズの発行

調査研究報告書の他に、研究所独自の調査研究成果をとりまとめたのが調査研究シリーズです。統計集以外の調査研究シリーズの全文をネット上に公表していますので、報告書全文をダウンロードすることができます。

- ・『朴槿恵政権の FTA 政策－韓中 FTA と TPP への対応を中心に』(29 号、4 月)
- ・『メガ FTA におけるルール～TPP を事例として～ ITI メガ FTA 研究会報告 (2)』(30 号、4 月)
- ・『TPP 協定に対する米国内産業界および労働界の見方 ～ITI メガ FTA 研究会報告 (3)』(31 号、4 月)
- ・『TPP の ASEAN への影響 ～ITI メガ FTA 研究会報告 (4)』(32 号、4 月)
- ・『新生インドの「モディノミクス」と FTA 戦略～アクト・イースト政策で東アジアと経済連携～ITI メガ FTA 研究会報告 (5)』(33 号、4 月)
- ・『電子部品・デバイスの貿易からみたグローバル・サプライチェーンと情報技術協定 (ITA) ～ITI メガ FTA 研

究会報告 (6)』(34 号、4 月)

- ・『日本の TPP 貿易、RCEP 貿易 ～ITI メガ FTA 研究会報告 (7)』(35 号、4 月)
  - ・『Mekong Supply Chain Study Country Report～Myanmar～』(36 号、4 月)
  - ・『Mekong Supply Chain Study Country Report～Vietnam～』(37 号、4 月)
  - ・『TPP とサービス貿易－ベトナムの留保内容を事例として－』(38 号、6 月)
  - ・『世界主要国の直接投資統計集 (2016 年版) ②国別編 (有料)』(39 号、6 月)
  - ・『EU は長期低落をふせげるか－イギリス離脱の行方』(40 号、9 月)
  - ・『巨象インドのグローバル化～ICT 時代の好機と時間を要する進展～』(41 号、10 月)
  - ・『世界主要国の直接投資統計集 (2016 年版) ①概況編 (有料)』(42 号、11 月)
  - ・『ITI 国際直接投資マトリックス (2016 年版) (有料)』(43 号、11 月)
  - ・『中国の第 13 次 5 カ年計画と一帯一路戦略を中心とする対外発展戦略の国際経済への影響』(44 号、2 月)
- (3) 英文の調査研究シリーズの発行  
調査研究シリーズとして英文の調査研究レポートを発行しました。

---

その論文の全文を、ホームページの調査研究シリーズ欄に掲載しています。

いずれも、それぞれの国の研究者で（公益財団法人）JKA の助成をうけて実施した『27 年度アジアサプライチェーンに関する調査研究会』の研究メンバーです。

執筆者と論文タイトルは次のとおりです。

- ・『Mekon Supply Chain Study Country Report~Myanmar~』（36 号、4 月）
- ・『Mekon Supply Chain Study Country Report~Vietnam~』（37 号、4 月）

#### (4) 会員対象の勉強会

会員を対象にした「勉強会」を研究所内の会議室で開催しています。研究所の研究プロジェクトの一環として行う研究会をかねた場合もあります。勉強会のご案内を会員の方に E-mail で差し上げています。お気軽にご参加くださるようお願いいたします。

- ・ 第 1 回（6 月 16 日）  
テーマ：「TPP 批准の見通しおよびポスト TPP の米国戦略」（滝井光夫 桜美林大学名誉教授）
- ・ 第 2 回（6 月 29 日）  
テーマ：「ASEAN 企業のメコン展開」（牛山隆一 日本経済研究セン

ター主任研究員）

- ・ 第 3 回（7 月 12 日）  
テーマ：「最近の日本の対米投資の特徴」（増田耕太郎 ITI 客員研究員）
- ・ 第 4 回（8 月 10 日）  
テーマ：「イギリスの EU 離脱問題と欧州経済展望」（川野祐司 東洋大学経済学部教授）
- ・ 第 5 回（9 月 20 日）  
テーマ：「混迷続くブラジルおよびメルコスール（南米南部共同市場）の動静」（堀坂浩太郎 上智大学名誉教授）
- ・ 第 6 回（10 月 5 日）  
テーマ：「英国のエシカル・コンシューマー」（ロブ・ハリソン エシカル・コンシューマー誌創設者）
- ・ 第 7 回（10 月 21 日）  
テーマ：「アフリカの概況と TICAD VI の結果を踏まえた今後の取組」（小松崎宏之 JETRO 海外調査部主査（前ナイロビ所長））
- ・ 第 8 回（11 月 22 日）  
テーマ：
  - ①「韓国企業のベトナム進出」（百本和弘 JETRO 海外調査部主査）
  - ②「大メコン圏の経済回廊における物流状況」（藤村学 青山学

院大学経済学部教授)

③「マングレー工業団地の工場現場と中国の対ミャンマー貿易」(大木博巳 ITI 事務局長兼研究主幹)

④「ビエンチャン、マングレー地域における産業人材育成」(高橋与志 広島大学大学院国際協力研究科准教授)

・第9回(11月25日)

テーマ:「トランプ新政権発足後の米国経済のリスク」(木村誠 JETRO 海外調査部アドバイザー)

・第10回(1月24日)

テーマ:「自由貿易体制の拡大・深化に備え輸出力強化に注力するインド～自動車産業を例として」(山元哲史 現代文化研究所上席主任研究員)

#### 4. ITI セミナー

1) ASEAN センター共催セミナー

«ASEAN 設立 50 周年に向けて»

ASEAN センター(国際機関日本アセアンセンター)と共同で ASEAN 地域に関連したセミナーを9月20日に東洋大学 白山キャンパスで開催しました。講演:

①「産業クラスターによる ASEAN の経済成長」(朽木昭文 日本大学

生物資源科学部教授・ITI 客員研究員)

②「FTA による ASEAN の貿易構造変化、関税削減効果」(高橋俊樹 ITI 研究主幹)

③「タイの貿易構造の変化と FTA の現状」(吉岡武臣 ITI 主任研究員)

主催:国際機関日本アセアンセンター  
共催:一般財団法人国際貿易投資研究所

後援:東洋大学、一般財団法人貿易・産業協力振興財団

2) JETRO 共催セミナー

「東アジアの貿易構造とメガ FTA -日本企業の FTA 活用のあり方を探る-」セミナー

12月16日、日本貿易振興機構(JETRO)と共催で大阪でセミナーを開催しました。

製造業を中心とした企業の参加者が多く、FTA に関するビジネス界の関心の高さが伺えました。

講演テーマおよび講師:

①「アジアにおける FTA の最新動向」(安田啓 JETRO 国際経済課課長代理)

②「東アジアの貿易構造と FTA -ミャンマー・カンボジアや TPP 参加国を含む ACFTA/AFTA 及び EPA

---

／TPP の関税削減効果を探るー」  
(高橋俊樹 ITI 研究主幹)

- ③「タイの日本・中国・ASEAN との  
FTA 効果と TPP の影響」(吉岡武臣  
ITI 主任研究員)

### 3) JKA セミナー

28 年度 JKA 事業の成果として下記の  
セミナーを開催した(予定を含む)。

「メコンサプライチェーン」の開催

- (1) 広島商工会議所、広島産業振興機  
構と共催でメコンセミナーを2月28  
日に広島商工会議所で開催した。

- ①「メコン経済の現状と日系企業」  
(大木博巳 ITI 事務局局長兼研究  
主幹)

- ②「大メコン圏の経済回廊における  
越境物流と通関の実態」(藤村学  
青山学院大学経済学部教授)

- ③「メコン地域における産業人材育  
成」(高橋与志 広島大学大学院  
国際協力研究科准教授)

- (2) ASEAN センターとの共催でメコン  
セミナーを3月2日に東京で開催し  
た。

- ①「大メコン圏の経済回廊における  
越境物流と通関の実態」(藤村学  
青山学院大学経済学部教授)

- ②「ベトナム企業の対外進出 ラオ

ス、カンボジアとの関係を中心に」  
(池部亮 JETRO 海外調査部アジ  
ア大洋州課長)

- ③「韓国企業のベトナム進出」(百本  
和弘 JETRO 海外調査部主査)

- ④「メコン地域における産業人材育  
成」(高橋与志 広島大学大学院  
国際協力研究科准教授)

3 月 15 日にはジェットロとの共催で  
知財セミナーを開始する予定。

### 4) AC-FTA に関する個別調査

AC-FTA (ASEAN 中国 FTA) につい  
てはセミナーの開催に加え、団体主催の  
講演会あるいは企業内での勉強会等  
の AC-FTA を紹介する機会を得て調査  
研究成果の一端を紹介しています。

なお、AC-FTA の活用で自社の製品な  
どに対する関税引き下げ効果の確認  
等の相談等が寄せられており、でき  
限りの協力をしています。また、ご要  
望に応じ個別調査のご依頼をお受け  
しています。

---

## 5. 世界経済評論

- (1)『世界経済評論』(復刊7号・8号)

「世界経済評論」(隔月刊発行)を発  
刊しました。

- ・「2017 年 1~2 月号 汎アジアの新た  
な発展: 経済開発と地域の融合」(61

巻1号：通巻688号）を12月15日に発刊しました。

・「2017年3～4月号 トランプ維新への疑問と現実」（61巻2号）は2月15日に発刊しました。

・「2017年5～6月号 ロシア特集」を4月15日に発刊します。

内容は本誌164ページに掲載およびネット上でも紹介しています。

<http://www.world-economic-review.jp/>

「世界経済評論」誌のご購読および広告等の照会先は次のとおりです。

（株）文眞堂

TEL：03-3202-8480

e-mail：eigyou@bunshin-do.co.jp

・若手研究者の論文募集（査読付論文の掲載）

世界経済評論では、新進気鋭の研究者等による論文を募集しています。採用する論文は、査読者による査読付として公表する予定です。

## （2）世界経済評論評議会

6月2日に開催しました。評議会では発行済の内容ばかりでなく今後取り上げるべきテーマ、内容、広報・普及等、さまざまな視点から問題提起をさせていただきました。

## （3）世界経済評論編集企画委員会

11月29日、第5回世界経済評論編集企画委員会を開催。復刊1～6号の発行をもとに、今後の特集テーマ、掲載論文等編集方針について検討しました。

## （4）世界経済評論書評委員

世界経済評論誌の書評欄に掲載する書評の選書と執筆を担当する書評委員を次の方（15名）に委嘱しました。

安室憲一、石川幸一、猪口孝、馬田啓一、浦田秀次郎、江夏健一、葛西敬之、木村福成、橋川武郎、朽木昭文、清水一史、白木三秀、田中素香、福田博、松下満雄（敬称略）

## （5）世界経済評論 IMPACT

ウェブ・マガジン「世界経済評論 IMPACT」は、毎週月曜日に有識者数名によるコラムを掲載しています。

毎週月曜日に4～6名の識者が交代でコラムを執筆します。ぜひご覧ください。

<http://www.world-economic-review.jp/impact/>

コラムを執筆されている方は100名を超え、掲載したコラム数は合計244本になりました（2017年1月16日現

在)。

また、コラムに付随した論文を掲載する『世界経済評論 IMPACT+ (Plus)』のサイトを開設しました。

「世界経済 IMPACT」および「世界経済 IMPACT+」のサイトは次のとおりです。

[http://www.world-economic-review.jp/impact/impact\\_plus.html](http://www.world-economic-review.jp/impact/impact_plus.html)

## 6. ホームページ

### (1) コラム欄

- ・「なぜ日本は米国よりも一人当たり購買力平価 GDP の順位を下げるのか～米国を除く TPP よりも大きい米国の購買力～」(31号、5月25日、高橋俊樹)
- ・「中国企業における『男』と『女』の関係」(32号、5月26日、江原規由)
- ・「「猿年馬月」がやって来た」(33号、6月14日、江原規由)
- ・「中国にデイズニーランドがやって来た～テーマパークに中米対決の構図をみる？」(34号、6月16日、江原規由)
- ・「トランプ政権の経済通商政策と日本の対応～TPP の批准や RCEP 交渉の現状と今後の行方～」(35号、11月17日、高橋俊樹)
- ・「トランプ新政権で NAFTA はどうな

るか～北米戦略の方向性を探る～」

(36号、1月11日、高橋俊樹)

- ・「メキシコ企業を脅かす犯罪被害～『浜の真砂は尽くるとも世に盗人の種は尽くまじ』～」(37号、1月18日、内多允)

### (2) フラッシュ欄

- ・「対外関係修復に精力、アルゼンチンのマクリ新政権—南米南部に“新風”を—」(273号、4月1日、堀坂浩太郎)
- ・「TPP は機械・繊維の輸出に追い風～金属铸造用鑄型枠、マシニングセンター、T シャツの新たな戦略を探る～」(274号、4月5日、高橋俊樹)
- ・「米 EU 環大西洋貿易投資連携協定 (TTIP) 交渉の行方 (その 3) —スピードが上がらない交渉、年内の合意は無理か—」(275号、4月19日、田中友義)
- ・「TPP における日本の農林水産物の関税引き下げ—税率維持の品目は市場開放の関税割当枠とセッター—」(276号、4月21日、吉岡武臣)
- ・「米財務省、外国為替政策報告書を発表—新設した『監視リスト』」(277号、5月12日、滝井光夫)
- ・「C 型肝炎の特効薬・ソバルディの国別販売価格—新薬開発と必須医薬

- 品の供給の共存を目指すー」(278号、5月12日、増田耕太郎)
- ・「ブラジル、問われるテメル暫定政権の力量ーカギ握るメイレス財務相の手腕」(279号、5月25日、堀坂浩太郎)
- ・「EU、八方塞がりの難民対策」(280号、6月13日、宇佐美喜昭)
- ・「米国の TPP 批准作業はどこまで進んでいるか」(281号、7月1日、滝井光夫)
- ・「英国の EU 離脱交渉の行方 (その 1)ー先延ばしを図る英国、早期開始を迫る EUー」(282号、7月22日、田中友義)
- ・「英国の EU 離脱交渉の行方 (その 2)ー短すぎる交渉期間、あり得る事前交渉-」(283号、8月10日、田中友義)
- ・「TPP は農産物輸出を変えるか〜りんごや米などの輸出はアッパーミドルを狙え〜」(284号、8月16日、高橋俊樹)
- ・「RCEP の交渉状況と課題」(285号、8月16日、石川幸一)
- ・「壊れていく国のかたち ~クーデタ未遂後のトルコ~」(286号、8月23日、夏目美詠子)
- ・「米政府、TPP 批准手続きを開始」(287号、8月24日、滝井光夫)
- ・「踊り場のメコン経済…現状と展望 (1) 日系企業のタイ+1 は一服状態」(288号、8月30日、春日尚雄)
- ・「東アジアの投資関連協定と RCEP 投資交渉への期待」(289号、9月1日、石川幸一)
- ・「韓進海運破綻の余波」(290号、9月1日、宇佐美喜昭)
- ・「踊り場のメコン経済…現状と展望 (2) 産業人材の不足は短期的かつ長期的課題」(291号、9月15日、高橋与志)
- ・「踊り場のメコン経済…現状と展望 (3) マンダレー工業団地の生産現場、旧式な設備と溢れる中国製機械・部材」(292号、9月16日、大木博巳)
- ・「踊り場のメコン経済…現状と展望 (4) 『踊り場』の次を冷静に見つめる時期、課題は CLM 当局の投資環境づくり」(293号、9月21日、藤村学)
- ・「TPP 批准の進展なく米議会は休会入り」(294号、10月3日、滝井光夫)
- ・「英国の EU 離脱交渉の行方 (その 3)ー離脱交渉、来年3月末までに開始-」(295号、10月4日、田中友義)
- ・「踊り場のメコン経済…現状と展望 (5) ミャンマーで人気の日本の経営」(296号、10月6日、Dr. Than Than

- 
- Aung)
- ・「航空機部品が米国の対日輸入品目の上位に躍進（日本の輸出品-その1-）」(297号、10月11日、増田耕太郎)
  - ・「踊り場のメコン経済…現状と展望（6）産業構造の転換に苦しむタイ、ベトナムは内需主導型へ、外資進出が見込まれるミャンマー」(298号、10月12日、池部亮)
  - ・「米国の対日輸入急増品目～『蓄電池部品』(日本の輸出品-2-）」(299号、10月28日、増田耕太郎)
  - ・「踊り場のメコン経済…現状と展望（7）韓国企業のチャイナ+1、ベトナムで存在感」(300号、11月1日、百本和弘)
  - ・「荷役運搬 搬送用ロボットが主体の産業用ロボットの対米輸出(その1)（日本の輸出品-3-）」(301号、11月11日、増田耕太郎)
  - ・「踊り場のメコン経済…現状と展望（8）ASEAN 産業再編の始動」(302号、11月18日、大木博巳)
  - ・「輸出が牽引する日本の産業用ロボットと輸出増加の背景（日本の輸出品-3-『産業用ロボット』(その2)）」(303号、11月22日、増田耕太郎)
  - ・「『米国第一主義は、自滅的な保護主義にはならない』～トランプ新政権の経済政策を読む～」(304号、11月22日、木村誠)
  - ・「対談：トランプ新政権をめぐる米国経済の展望(その1)」(305号、11月25日、滝井光夫・高橋俊樹)
  - ・「対談：トランプ新政権をめぐる米国経済の展望(その2)」(306号、11月25日、滝井光夫・高橋俊樹)
  - ・「観光立国に防災ツーリズムの薦め－震災大国の経験は世界貢献の資源－」(307号、12月2日、山崎恭平)
  - ・「もう一つの大統領選挙結果：一般投票ではクリントンの圧勝」(308号、12月5日、滝井光夫)
  - ・「トランプ衝撃に揺れる欧州－ポピュリズムの潮流が逆流」(309号、12月8日、田中友義)
  - ・「米国のTPP 離脱の衝撃：トランプは本当に墓穴を掘るのか」(310号、12月13日、馬田啓一)
  - ・「イタリアのモンテ パスキ銀行を巡って」(311号、12月14日、川野祐司)
  - ・「踊り場のメコン経済…現状と展望（9）生産委託先として信頼性を高めているカンボジアのアパレル産業～課題は賃金高騰に見合った生産性の上昇～」(312号、12月15日、増田耕太郎)

- ・『抗うつ薬、精神安定剤、他の精神療法薬』の対米輸出の増加（日本の輸出品 その4）」(313号、12月15日、増田耕太郎)
- ・「中国とブラジルの対アフリカ・ポルトガル語圏経済関係」(314号、12月20日、内多允)
- ・「ECBの金融政策は転換点を迎えたか」(315号、12月28日、川野祐司)
- ・「EU中国通商摩擦（2016年）とその背景－中国の攻勢とEUの防御」(316号、1月12日、田中素香)

### (3) 国際比較統計

ホームページの国際比較統計は、国際比較可能な形式のフォームで①「直接投資」、②「貿易」、③「サービス貿易」、④「マクロ経済統計」の3分野について掲載し、多くの方のリサーチ・インフラとして活用されています。

最新の年次データに更新しました。

### (4) 本誌論文等の検索

本誌掲載の論文・研究ノート等の全文をホームページに掲載しています。

本誌は47号までは『ITI 季報』として発行し、48号から『季刊 国際貿易と投資』と名称を変えました。掲載論文の全文を読むことができるのは、『ITI 季報』の第45号（2001年8月

号）以降と『季刊 国際貿易と投資』に掲載したものです。

研究所のトップページ上の Google の HP 内検索を使い、ご関心の論文を探しダウンロードするのが便利です（<http://www.iti.or.jp>）。

なお、本誌掲載論文をホームページ上に公表すると、アクセスが急増する傾向があります。最近は各種の調査レポートを紹介するサイトが増え、それらの多くは本誌掲載論文を紹介対象に選んでいます。

## 7. 所外活動など

### 【講演等】

- ・湯澤三郎（専務理事）
  - 7月4日 JICA 研修講師（北九州）
  - 9月12日 JICA 研修講師（北九州）
  - 9月17日 秋田県教育庁主催高校生イングリッシュ・キャンプ講師
  - 12月22日 横浜市立矢部小学校6年生講師「中学で夢と希望を大きく膨らまそう」
  - 1月29日～2月4日 ジェトロ委託南アジア・パシフィックセミナー講師（南アフリカ）
- ・大木博巳（事務局長兼研究主幹）
  - 7月13日 JICA 研修講師（東京）
  - 12月6日 早稲田大学講義
  - 12月20日 産業経理協会発表

- 1月14日 早稲田大学トラン研究会発表
  - 2月6日 JICA 研修講師（東京）
  - ・高橋俊樹（研究主幹）
  - 6月30日～7月1日 NEAT Working Group on “The Road towards the East ASEAN Economic Community (EAEC) 2020” 発表（北京）
  - 10月11日～13日 「TCS-Korea Future Foundation International Conference 2016」（ソウル）
  - 10月27日 日本国際フォーラム
  - 12月15日 関西フロンティア研究会
  - 9月より 東洋大学講義 経済特講（英語）
  - ・江原規由（研究主幹）
  - 7月14日、22日 2025年大阪万博誘致検討会 意見・コメント発表
  - 7月23日 工学院大学 東京都日中友好協会講演 中国（経済）の実態と展望
  - 7月30日、31日 日本国際文化研究センター 万博研究会
  - 8月12日 2015年大阪万博誘致検討会
  - 9月5日 日中関係学会理事会
  - 9月6日 2025年大阪万博誘致検討会議
  - 9月8～9日 日本国際文化研究センター講演
  - 9月16日 埼玉北部校長経験者セミナー講演
  - 9月29日 2025年大阪万博会議
  - 10月1日 NEASRNET & 桜美林大学主催国際シンポジウム
  - 10月25日 中国大使館主催中国有識者との意見交換会
  - 10月28日 2025年大阪万博誘致検討会議
  - 10月31日 ひょうご講座講演
  - 11月15日 桜美林大学北東アジア総合研究所講演
  - 11月28日 第一回第4国市場における日中韓フォーラム意見発表
  - 12月17日、18日 日本国際文化研究センター万博研究会
- 【寄稿等】**
- ・ 畠山襄（理事長）
  - 「経済統合止められず」（日本経済新聞朝刊2016年7月12日）
  - ・ 大木博巳（事務局長兼研究主幹）
  - 「TPP 貿易と RCEP 貿易の展望」（勁草書房）
  - 「メコン地域の生産分業の胎動～「海の ASEAN」から「陸の ASEAN」へ、ASEAN 産業再編のうねり～」（WarmTOPIC 11月）
  - ・ 江原規由（研究主幹）

- 「G20 杭州サミットと一帯一路構想」  
（人民中国 8 月号）
  - 「世界経済の新たな潮流に向き合う  
中国と世界」（人民中国 9 月号）
  - 「チャイナパワーは女性パワー？」  
（人民中国 10 月号）
  - 「2016 年の中国経済」（人民中国 11  
月号）
  - 「中国の一帯一路構想の可能性」（文  
眞堂）
  - 「中国の伙伴関係と一帯一路戦略の  
行方」（蒼蒼社 21 世紀中国総研）
  - 「一帯一路戦略の現状と展望」（桜美  
林大学北東アジア総合研究所）
  - 「グローバリズムが追い風 世界経  
済の火焰山脱出を」（人民中国 12 月  
号）
  - ・ 「海外も注目する「PPP 事業」」（人  
民中国 2017 年 1 月号）
  - 「鶏年「鶏祥如意」に期待 中国され  
るメガロポリス」（人民中国 2 月号）
  - 「世界の中国に対する期待（グロー  
バルガバナンスにおける中国の役  
割に対する世界の評価、ダボス会議  
での中国への期待、中国の世界経済  
に対する国際社会の評価、中国経済  
の現状と展望など）」（人民日報）
  - ・ 高橋俊樹（研究主幹）
  - 「農産物輸出の実態を問う；TPP で障  
壁は緩和されるか」（農業雑誌ニュー  
ーカントリー-2016 年 8 月号）
  - 「未来予測」；「新興国の台頭と日本  
の進むべき道」（技術情報協会）
  - 「ASEAN 経済共同体の動向とサプラ  
イチェーン」（化学工業日報社）
  - 「FTA の関税削減効果と企業の対応」  
（勁草書房）
  - 「自由貿易時代の経営戦略：世界で  
進展するメガ FTA とそのビジネスス  
ィンパクト」（ダイヤモンドオンライ  
ン 12 月 22 日から 1 か月）
  - 「強まる米国の国際競争力～知的財  
産・金融・専門サービスで海外から  
利益を生む～」（世界経済評論）
  - ・ 吉岡武臣（主任研究員）
  - 「日本の輸出入における TPP の影響」  
（勁草書房）
- 【出版】
- 『TPP の期待と課題：アジア太平洋の  
新通商秩序』（文眞堂）
  - 『メガ FTA と世界経済秩序：ポスト TPP  
の課題』（勁草書房）
  - 『検証・アジア経済：現状と課題』  
（文眞堂）
- （事務局：大木博巳、寺川光土、井殿  
みどり、宮本由紀子）